

2020年度の航路計画 ～ みなと計画の位置付けと必要性

▶位置付け：若年層を対象とした活動の中でもストライクゾーンが広い

- ・対象の年齢幅が広い
- ・職業/収入にこだわらない
- ・国籍も関係ない
- ・年中即時対応
- ・若者の「今」にこだわる
- ・対等なパートナーシップ

▶必要性：コロナの影響と、若年層をめぐる情勢に思うこと

- ・当法人でも若い方々へのアンケートを取り、多様な声が寄せられる。
- ・一方で、表面化するのには、経済的・精神的な側面で、支援策は経済的なサポートが目立つ。
- ・若い心がいま思うことには、未来への「種」がある。この種に水を注ぎ、芽吹かせることが、未来への投資になる。
- ・あらゆる「種」を見つけ出し、水を注いでいける枠組みを持つとする「みなと計画」は、現状では希少な存在と言える。
- ・しかし、まだ枠が少なく、貧弱な体制であり、これを強固なものにすることが急務である。
- ・期待の波は、若者からも社会からも感じられる。この波に乗れるかどうかの大勝負の一年になる。

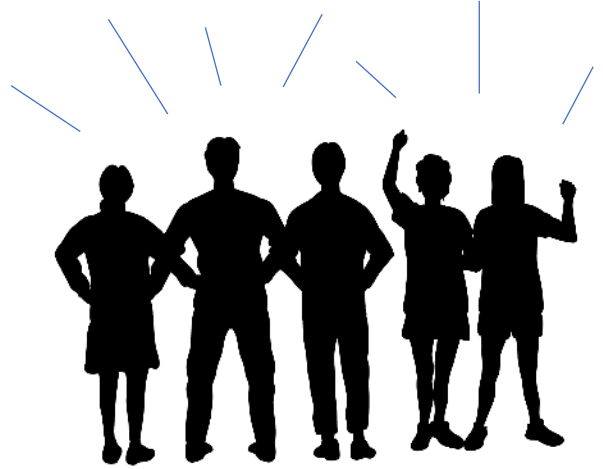
2020年度の航路計画～大きな目標

多様な背景を持つ若者のニーズに、寄り添い、応えられる仕組みを構築する。
そのために、人財力、情報収集力、資金力をガッチリさせる。
それは、世界共通のライフライン。

人財力

情報収集力

資金力



1 貧困をなくそう

The icon for Sustainable Development Goal 1, 'No Poverty', shows a stylized family of four: two adults and two children.

4 質の高い教育をみんなに

The icon for Sustainable Development Goal 4, 'Quality Education', depicts an open book and a pencil.

5 ジェンダー平等を実現しよう

The icon for Sustainable Development Goal 5, 'Gender Equality', features a female symbol with an equals sign inside a circle.

8 働きがいも経済成長も

The icon for Sustainable Development Goal 8, 'Decent Work and Economic Growth', shows a bar chart with an upward-pointing arrow.

10 人や国の不平等をなくそう

The icon for Sustainable Development Goal 10, 'Reduced Inequalities', consists of a diamond shape with four arrows pointing outwards from its center.

2020年度の航海計画 多様なニーズをしっかりとキャッチできる、足腰を作る！

STEP 1. 共感力を磨き、クルー増員

まだ見ぬ仲間へ情報を届けるために、情報発信力を磨く。各種会員(クルー)の人数は、外部に対しても若者に対しても「信頼」につながる。

- ▶ 加入を呼びかける媒体の作成
- ▶ 実績を元にしたWEB、SNSでの発信

———お願いしたいこと———

- ・ あなたの「声」を発信させて下さい。取材のご協力
- ・ 情報の拡散
チラシ等の配布、SNSでのシェア(得意な媒体で)

人財力

STEP 2. ユースの「今」こそ、未来の証明

若い方々の「今」を捉えられていることが、みなと計画の立てた航路計画の正しさを証明する、確実な方法。

- ▶ アンケート調査(4,000名)
- ▶ ヒアリング&冊子化(24名)

———お願いしたいこと———

- ・ アンケート調査へのご協力(大学、関係機関等)
- ・ ヒアリングを受けて下さる

情報収集力

STEP 3. 揺るがぬ「信頼」が、若人の航海を支える

多くのクルー、若者の声を捉えた活動実績、同種の活動をする外部団体との連携は、若者を応援したい企業や団体の信頼につながる。

- ▶ 企業パートナー制度の導入(WEBシステムの構築)
- ▶ 行政・民間の委託・助成事業の実施

———お願いしたいこと———

- ・ パートナー希望の企業のご紹介
- ・ 事務局を担える人材のご紹介

1~3への循環を作る

資金力

2020年度の航路計画 既に動き始めてます（1）

STEP1 人財力：力強いスタート！ マンスリークルー50名越を新たにお迎えしました。

みなと計画のクルーのいま

正会員 **10**名

マンスリークルー
5名 → **62**名

みなと会員 **35**名

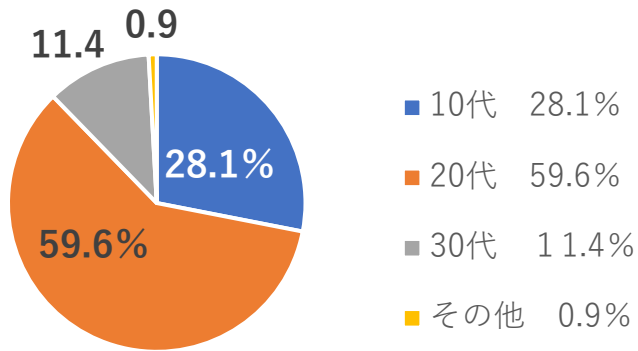
ユース会員 **41**名

2020年度の航路計画 既に動き始めてます（2）

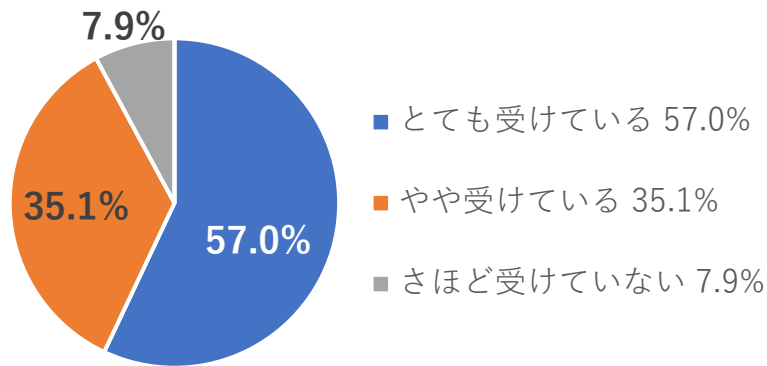
STEP 2 情報収集力：コロナ緊急アンケートを実施しています！

- ・ 期 間：2020年4月13日～27日時点（継続中）
- ・ 手 法：関係者を通じたSNS、メール等による募集
- ・ 回答数：114

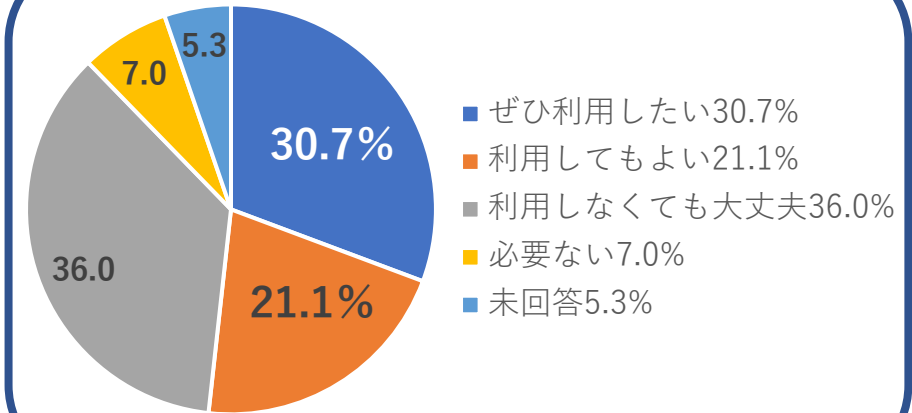
年代



影響の有無



サポートの必要性



でも、みなと計画が大事にしたいのは統計情報よりも……

コロナ緊急アンケート～いまあなたの思うこと、言いたいことは？

10代

きっと今こそ、創造力、発想力、行動力のある人が生きる時です。

自分と同じ行動をしないとダメだ"と画一化を強制しないといけないみたいな傾向を感じて、私は情報をみただけで不安になって疲れてしまった。

しんどいです。

高校を出校停止にしてほしい。

いかなる困難な時期であっても、文化芸術は継続されねばなりません。

今後の経済面での影響が何年後まで続くか不安。

20代

政治家、本当に真面目にやってください。みんな苦しんでいる。どうせいつもみたいに若い人間は後回しなんだと思う。

給料は減っていくのに年金の振込用紙が届いたので死んでやろうかと思った。

日本人なら大丈夫！日本すごい！という発言を度々耳にするが正直バカなんじゃないかと思う。

何にも縛られない時間を使って、今のうちに将来に向けての基礎固めにじっくり取り組める時期のようにも思います。

コロナが落ち着いても効率化できた部分を変わず続けていけば世の中全体の生産性が上がるのではないかと期待します。

30代

誰が悪いとかそういうことではない分、余計に世間はギスギスしている気がして生き辛いなあと思います。

これを機に東京への一極集中が多少減ればよいと思う。

美は人を鼓舞し癒す。アーティストの卵たちよ自信を持って精進し、美の感動濃厚創造者足らんことを願う。

地域レベルで見ると、こういう時こそ近所付き合いが大事になるなど実感。

2020年度の航路計画

個別事業：コロナの影響は必至。どのような工夫ができる??

Blue D-DAY2020

10月実施に向け、1月からチーム始動！
今年のテーマを決める段階へ。



講演会

オンライン参加が普通になった今、
全国の仲間を増やすチャンス！
道外の団体とも気軽に連携できるのでは。
参加料もちゃんと取れる！

事業報告会

江別港で行うような場を作れるはず！
人数が多くても入れる！
交流をスムーズにするにはどうすれば？